



8・9月の主な予定

28日	月	集団登校開始 ※9月5日まで 夏休み後全校朝会
9月 1日	金	クラブ活動
6日	水	自主登校開始
8日	金	委員会活動
9日	土	土曜授業 みなかぜ寺子屋 九大寺子屋(5年生)
11日	月	イングリッシュ・ウィーク エルフの会読み聞かせ(4年生)
13日	水	ピンクシャツ・デー
15日	金	みなかぜ塾(5年生)
21日	木	5年生自然体験教室 ※22日まで
22日	金	みなかぜ塾(6年生)
25日	月	エルフの会読み聞かせ(6年生)
29日	金	クラブ活動

秋になると 工藤直子

秋になると
木の実はいっぱい うれしくなる
いちばん いい様子ををして
(見てちょうだい) と
あっちこっちに 声をかける
そして 自分から ひかりはじめる

- 子どもたちの健康な声が学校に戻ってきました。大きな事故や病気の報告なく、この日を迎えることができたこと、うれしく思います。
 - お盆を過ぎると暑さも峠を越えて秋の気配が…とはいかないですね。まだまだ強い陽が照りつけています。熱中症への備えと働きかけが必要です。
 - 9月の異名は「長月」。なぜ「長月」と呼ぶのか、由来を調べてみると次のように説明されていました。
 - ▶「夜長月 (よながつき)」と呼ばれていたものが短くなり「長月」に転じた。
 - ▶「稻刈月 (いねかりづき)」が「ねかづき」となり「ながつき」に転じた。
 - ▶「稻熟月 (いねあがりづき)」が転じた。
 - ▶稲が長く成長する月という意味の「穂長月 (ほながつき)」が略された。
 - 元気に響いているセミたちの声が秋の虫の声にかわるころには風も空気も涼やかになっているのでしょうね。前期後半、さあ元気にスタートです。
-

全国学力・学習状況調査結果

4月に6年生が取り組んだ「全国学力・学習状況調査」。結果が届きました。

▼国語
全国67.2 福岡県68 **南風小76**

▼算数
全国62.5 福岡県62 **南風小71**

数値は平均正答率。結果をふまえ、次のことに力を入れて指導支援をすすめていくことを確認しました。

【国語】

- ▶段落を短くまとめて書き手の主張をとらえること。
- ▶「は」「が」「を」「へ」のような助詞を正しく使って文を書いたり話したりすること。
- ▶「●文字以内で」「●の言葉を使って」などの条件をふまえて書いたり話したりすること。

【算数】

- ▶モノを動かしたり図をかいたりして問われていることやわかっていることをイメージすること。
- ▶式の意味を友達に分かるように説明すること。
- ▶複数の資料をよんで必要な情報を取り出して考えながら答えを導き出すこと。

子どもたちの力がさらに伸びるよう、考えをつくり、つなげていく授業づくりに取り組んでいきます。

仏様の指

「教えるということ」という本があります。新米教師の私に先輩が「この本を読んでおきなさい」と紹介していただいたもの。著者の大村はま先生は、その本の中で「仏様の指」と題して次のような話をひかれています。

仏様がある時、道ばたに立っていらっしやると、一人の男が荷物をいっぱい積んだ車を引いて通りかかった。そこはたいへんなぬかるみであった。車は、そのぬかるみにはまってしまい男は懸命に引くけれども車は動こうとしない。男は汗びっしょりになって苦しんでいる。いつまでたっても車は抜けない。その時、仏様はしばらく男の様子を見ていらっしやいましたが、ちょっと指でその車におふれになった。その瞬間、車はすっとぬかるみから抜けて、からからと男は引いていってしまった。

大村先生は「こういうのがほんとうの教師(大人)の仕事。男は仏の指の力でなく、自分が努力してついに引き得たという自信と喜びで車を引いていった。そんな自信と喜びを味わわせるような働きかけをすることこそ大切である」とおっしゃいます。「ちょっと指でふれる」。力の入れ具合が難しい。それ以前にいつ指をさし出すのか、そのタイミングも難しい。それでも。「自分で」「自分が」という子どもの健康な主体性の育ちに向けてぜひとも心に留めておきたいと思います。

ふれあい夏祭り

8月19日土曜日。4年ぶりとなる南風ふれあい夏祭りが盛大に行われました。会場となった運動場は、参加された皆さんの笑顔、歓声そして熱気で満ち溢れました。企画、運営していただいた実行委員をはじめ関係の皆さま、本当にお疲れさまでした。有難うございます。ゴミのこと。コミセンの坂口センター長さんから、うれしい報告。「ゴミをすすんで拾っていた子がいて感心しました！」うれしいですね。そんな美しい心をさらに広げることができるよう、働きかけていきます。

